



代表取締役社長

福本勝司

# 人と街と未来をつなぎ 持続可能な社会の発展に貢献します

## 社会のニーズに的確に対応できる 企業を目指して

1933年の創業以来、当社は人と物と文化の交流に欠かせない交通インフラである道路の建設を通じ、社会・産業基盤の発展と地域社会の豊かな生活環境の実現に貢献してきました。

建設産業の需要は国際的なスポーツ・文化イベントを控え、堅調に推移しています。他方、老朽インフラの維持・更新工事の増加や都市デザインの変化、熟練工を中心とする現場作業員の減少など、重大な事業環境の変化に直面しています。

私たちはITを活用し、時代に先駆けた労働環境の整備や環境保全への一層の配慮、ビジネス環境の変化に即した事業モデルの見直しといった変革を通じて企業価値向上に努めつつ、多様化するステークホルダーの期待を的確にとらえて、応え続けます。

こうした攻守両面の課題達成に向け、2017年度か

ら5カ年の「中期経営計画2021」では①コンプライアンスを重視した企業風土の確立 ②変化する建設市場の中で安定した収益の持続的な確保 ③技術導入や技術開発の積極的な推進による技術力向上 ④人材の確保と育成を基本方針としています。

当社は期待される社会的使命のもとに進むべき方向を自主的に判断し、高付加価値のサービス・製品を提供し続けてまいります。

## コンプライアンス遵守を徹底して実践する 企業を目指して

当社は独占禁止法違反事件により2016年から2件の営業停止処分を受けました。皆さまに多大なるご心配・ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

こうした事態を重く受け止め、中期経営計画ではコンプライアンス遵守を強く宣言し、「独占禁止法遵守

プログラム」を強化しました。また、過去の事件を風化させることなく次代への戒めとして引き継ぐためケースメソッドを取り入れた研修も始めました。

法令違反や不当競争で得られる利益は一切不要という強い信念を徹底的に浸透させ、公明正大で透明性の高い事業活動を行います。皆さまにおかれましては、今後も一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 従業員が生き生きと働ける 企業を目指して

急速に高齢化社会が進む我が国の労働市場において、人材の確保と育成は喫緊かつ重要な経営課題の一つです。優秀な人材獲得の吸引力となるのは、その会社で生き生きと働く従業員の姿です。「大林道路と一緒に働きたい」と思ってもらえる魅力を備えた企業を目指し、「働き方改革推進プロジェクト・チーム」を

立ち上げました。年齢や性別を問わず、能力に見合った待遇のもとで個人の能力を最大限に発揮できる人事基盤の整備を進めています。

建設業の担い手確保には作業環境や労働条件の改善が不可欠です。ICTを駆使し、人手を要していた作業を機械化し、業務効率化を前進させます。また、ICT化は人と重機との接触を低減させ、安全性の向上にも有益です。現在、東京大学とITを活用した安全管理の共同研究を進めており、成果を広く社会に還元することで建設業界の発展に貢献してまいります。

しかしながら、働き方改革や安全へのさらなる取り組みは、こうした制度や設備面の整備だけでは進捗できません。従業員一人ひとりの意識改革や強い意志が必要なのです。胸に「道」の字を描いたブルズンを全従業員に配布したのは、着用の際に安全を意識してほしいという思いからでした。この思いを現場が汲み取り、それぞれに浸透した結果として、事故の大幅減につながりました。

### 持続可能な社会の発展に貢献する 企業を目指して

当社は社会とともに生き、その関わりの中でともに成長していく企業でありたいと考えます。良き企業市民として地域社会と文化の発展への寄与を目指しています。当社には大切な社会インフラを守るという確固たる信念が根付いており、近年の自然災害によって道路が寸断された際には、使命感を持って直ちに駆け付け、一刻も早い日常生活への復旧を目指し応急対策工事にあたりました。

また、当社の事業は自然環境とも深い関わりがあります。私自身が率先して技術開発の陣頭指揮にあたり、その中で環境負荷低減のための研究開発にも注力しています。環境配慮型の製品・技術は着実に成果を挙げているほか、アスファルト混合所建設にあたり、燃料を重油から都市ガスに切り替えるなど、自社保有設備に起因する環境負荷の軽減にも取り組んでいます。

全従業員が重要な社会資本である交通インフラを支えているとの強い自負を持ち続け、人と街と未来をつなぐ道路建設を通じ、持続可能な社会の発展に引き続き貢献してまいります。